

2012年(平成24年)
10月23日
No.1045
毎週火曜日発行(第5週は除く)

リフォーム産業新聞

The Remodeling Business Journal

発行所: 株式会社リフォーム産業新聞社
本社: 104-0061
東京都中央区銀座8-11-1
TEL: 03(6252)3450 FAX: 03(6252)3461
発行人: 加賀光次郎

リフォーム産業新聞社は
チャレンジ25キャンペーンに
参加しています



三井不動産 リフォーム

若年層の「継承リフォーム」需要増 親族の「ファミリー不動産」に1000万円超の改修

三井不動産リフォーム(東京都新宿区)は10月15日、同社が毎年発表している「リフォーム動向分析「ライフスタイルレポート」」の第8弾調査をまとめた。監修した「三井のリフォーム住生活研究所」の西田恭子所長は、団塊ジュニア層が親や親族の不動産を「継承リフォーム」する事例が増えていると話す。



西田恭子所長

今回の調査テーマは「ファミリー不動産×リフォームで住宅取得」の団塊ジュニアが住み継ぐ親の家として見えてきたのが、30〜40代の団塊ジュニア世代が親や親族の不動産をリフォームして住む事例だという。

「単なる親と住む二世帯リフォームだけでなく、親から家を譲り受ける、住まい譲渡、や祖父母が

手掛ける1万5900件のリフォーム事例を分析したところ、新たな候補として見えてきたのが、30〜40代の団塊ジュニア世代が親や親族の不動産をリフォームして住む事例だという。

共有型	譲渡型	賃貸型	交換型	住み替え
①親世代と子世代が同居 ②親と祖父母の2世帯住宅の空き部屋に同居	親・祖父母世代から家を譲り受ける	親・祖父母世代の賃貸住宅を子世代がリフォームして住む	親世代と子世代の家を交換する	親・祖父母世代の住宅を売却し、売却益と自己資金で新築の中古リフォームを行う

ら孫世代に家を譲る「スニップ継承」、親族が所有している賃貸住宅をリフォームして住むといった、ファミリー不動産の活用が多様化してきています。背景にあるのは、団塊ジュニア層が新築・中古を含めて、新たに家を取得するのが難しくなっ

てきており、より割安で、家族の絆も感じられる「住み継ぎ」にメリットを感じているようです(西田所長) 同社が手掛けた「継承リフォーム事例」を分析すると、60代から30代への引き継ぎが7割で最多。築年数は20〜39年が中心。リフォームに掛けた費用は1500万円以上が8割となる。「金額が大きいですが、新築や中古を買ってリフォームする費用に比べて継承リフォームは割安(西田所長) 同社によれば、2070万円超で継承リフォームした事例の同一地区を調

ミック環境開発

初の生活者向けイベントに500組 本格的に新規向け太陽光PR開始



小野高久社長

不動産売買を中心とした住宅事業を営む三春情報センターのグループ企業、ミック環境開発(神奈川県横浜市)は初の一

般生活者向け太陽光発電PRイベントを9月29日、30日の2日間行い、500組以上が来場した。イベントはイトーヨーカドー横浜別所店で開催。うまい棒を600本用意したお菓子釣りに523組が参加し、そのうち80組がアンケートに回答した。

般生活者向け太陽光発電PRイベントを9月29日、30日の2日間行い、500組以上が来場した。イベントはイトーヨーカドー横浜別所店で開催。うまい棒を600本用意したお菓子釣りに523組が参加し、そのうち80組がアンケートに回答した。

般生活者向け太陽光発電PRイベントを9月29日、30日の2日間行い、500組以上が来場した。イベントはイトーヨーカドー横浜別所店で開催。うまい棒を600本用意したお菓子釣りに523組が参加し、そのうち80組がアンケートに回答した。

リコの日 NO.105 いまいずみひろみ

銀杏拾いと料理教室



進協会の「住宅リフォーム事例調査報告書(平成23年度版)」によると、40歳未満でリフォームした人の住宅取得方法は、33.3%が「親からの相続等」で、他の世代に比べて2〜3倍の比率。さらに、リフォームの契約金額は1000万円超が45.6%で、他の世代に比べて2倍以上。

既存住宅流通・リフォーム推進事業の 交付申請締め切り日が約4ヵ月延長に

国土交通省

国土交通省は既存住宅流通・リフォーム推進事業(既存住宅流通タイプ)の交付申請・実績報告期間を延長することを発表した。同事業は住宅ストックの品質向上と流通活性化を目的に既存住宅流通の1(1戸当たり最大50万円)、瑕疵保険の検査および事務手数料、個人間売買の住宅検査料を補助するもの。住宅性能向上のためのリフォームや既存住宅瑕疵保険とリフォーム瑕疵保険の両方が掲載される。

YKKAP

「エクステリアデザイン施工フォトコンテスト」

1172点応募の大賞に佐賀県のカム・アクロス

YKKAP(東京都千代田区)は第2回「エクステリアデザイン施工フォトコンテスト」を開催。1172点の応募作品の中から、YKKAP大賞にカム・アクロス(佐賀県佐賀市)が選ばれた。大賞を受賞したカム・アクロスは次のようにコメンした。「お施主様からは、玄関に入るとすぐに視界に入る窓から中庭を見たいとの要望でした。今回のプランでは、①来客者に見せたい窓の眺め、②リビングと和室からの眺め、③高齢なご家族の部屋からの眺め、この3つのポイントにこだわっています。また、それぞれの季節からの四季折々の季節感が感じられるよう中央に植栽を施すことで、各部屋への視線の軽い目隠しにも工夫しました」 今回のコンテストには、昨年の約2倍の応募があり、5部門において31作品が受賞した。